クボタパワークローラトラクタ
KB16-PC,KB18-PC,KB20-PC 取扱説明書

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。この取扱説明書は，**パワークローラ仕様機**について，タイヤ仕様と特に異なる取扱い方法についてのみ説明してありますので，その他の説明については，本編の**［取扱説明書］**をご覧ください。

■ パワークローラ仕様機について

このパワークローラ仕様機は道路運送車両法の小型特殊自動車に該当しません。パワークローラ仕様機で公道を走行すると道路運送車両法に違反します。公道を移動するときはトラックに積んで運搬してください。

■ 日常点検

1. ゴムクローラの張りと亀裂，損傷が無いかを点検し，大きな亀裂や損傷がある場合は交換を行なってください。
2. スプロケットの摩耗を点検してください。
3. 可動部分やゴムクローラへの石等のはさみ込みが無いかを確認し，はさまっている場合は取除いてください。
4. 各部のボルト，ナットの緩みが無いか点検してください。

■ 運転操作

注　意

＊ 凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

1. 走行速度は，タイヤ仕様とは異なります。巻末の**［走行速度表］**を確認してください。
2. ほ場での旋回は速度を下げ，ハンドルとブレーキ（片ブレーキ）を併用してください。片側クローラをロックしての急旋回は，ほ場を荒しますのでスイッチバック（前・後進）での旋回をお奨めします。

重　要

＊ 機械保護のため，急発進，急停止や急旋回など，無理な操作はしないでください。

補　足

＊ 上記以外の取扱い操作は，タイヤ仕様のトラクタと同じです。本編の**［取扱説明書］**をご覧の上安全に操作してください。

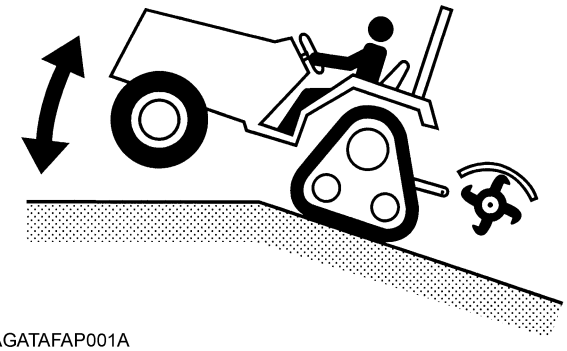
安全に作業するために

本パワークローラトラクタは，タイヤ仕様と異なりますので，必ずこの**【取扱説明書】**をよく読み理解した上で安全作業をしてください。

■運転時に

注　意

＊ クローラ部が凸部を乗り越えるときは，急に姿勢が変わりますので十分注意してください。

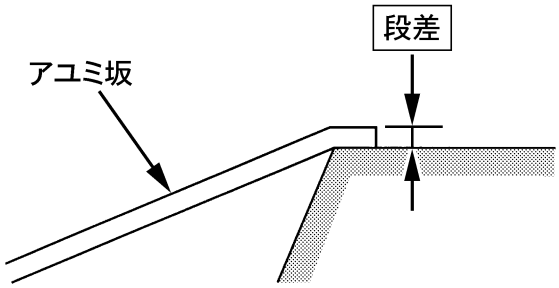


1AGATAFAP001A

■ほ場への出入り時の注意

注　意

＊ アユミ板は左右の先端をそろえ，前後にずれないように確実に固定してください。
＊ アユミ板とアユミ板を掛けた面との段差が大きい場合，運転には特に注意してください。
＊ クローラの片側だけが段差に引っかかり乗り上がらない状態になった場合，いったん車両を元に戻し，アユミ板をかけ直してはじめからやり直してください。



1AGATAFAP002A

■作業時の注意

注　意

＊ クローラの構造上，左右に大きな段差のある状態で作業を行なうと，クローラが外れる場合があります。プラウ作業などで片側のクローラを溝に落としての作業は行なわないでください。

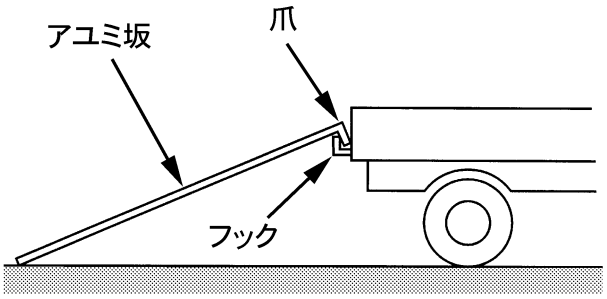
■トラックへの積み・降ろし

注 意

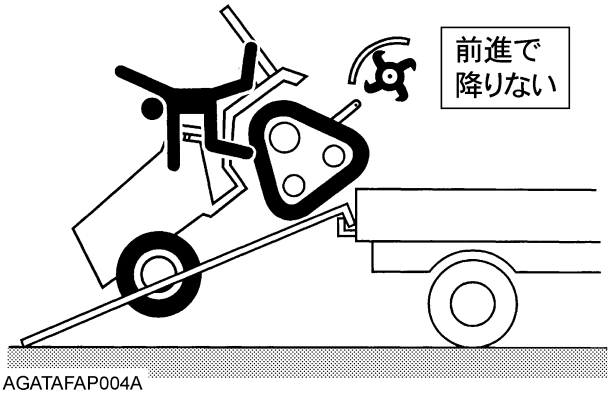
＊ アユミ板は，十分な強度・幅・長さ（傾斜が 15 度以下になる長さ：トラックの荷台高さの 4 倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し，パワークローラトラクタの重量でアユミ板が傾いたりしない場所を選んでください。

＊ トラックは荷台後部にアユミ板の爪を掛けるフックが付いたものを使用してください。

＊ トラックへの積み・降ろしは，必ず左右のブレーキペダルを［連結］し，前進で積み込み，後進で降ろしてください。前進で降りるとクローラがアユミ板の段差ですべり，前輪が浮いて車体が旋回し，転倒事故につながるおそれがあります。



1AGATAFAP003A



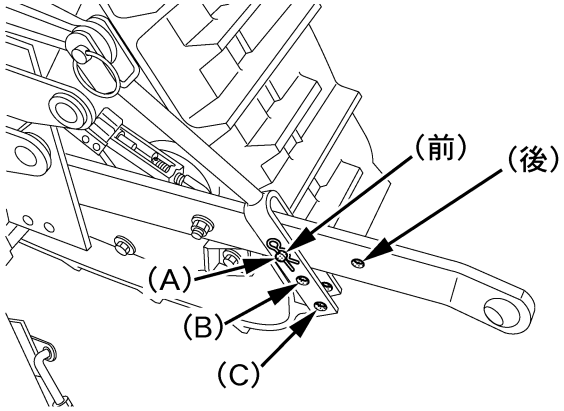
1AGATAFAP004A

三点リンク

■インプルメント取付け前の準備

◆ ロアーリンク取付け穴の選択

1. PC1,PC2,PC3 仕様のトラクタには，専用のロアーリンクが，PC3N 仕様のトラクタにはタイヤ仕様と同じロアーリンクが装着されています。
   特殊三点リンクロータリを使うときは，(A) と（前）の取付け穴を使ってください。
2. 一般作業機を使うときは，作業機の説明書に従ってください。



1AGATAFAP005A

給油

■トラクタの給油

給油項目	容量（L）	
前車軸ケースオイル	PC1,PC2	PC3,PC3N
	4.5	3.9

油の種類：クボタ純オイル
スーパー UDT　又は
バイオスーパー UDT

300 時間ごとの点検・整備

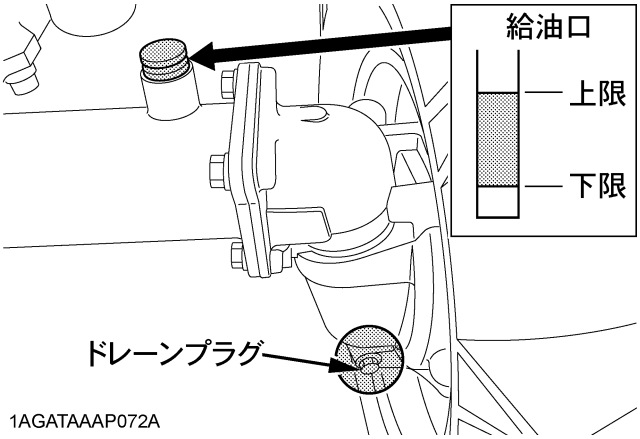
■前車軸ケースオイルの交換

1. ドレーンプラグと給油プラグを外してオイルを抜きます。(左右とも)
2. ドレーンプラグを締めます。(左右とも)
3. 給油口からミッションオイルを規定量入れてください。

重　要

＊ オイルが左右のケースに充満するまで時間がかかります。
給油の約 10 分後, 給油プラグを差込み油面を点検し，不足していれば補給します。

4. 給油プラグを確実に差込んでください。

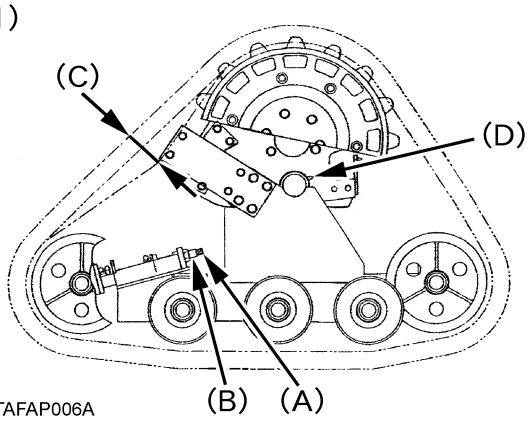


保守管理

■ゴムクローラの張り調整

1. ゴムクローラが緩んだままで使用すると，走行中に脱輪のおそれがありますので，定期的に点検を行なってください。
2. ゴムクローラの張り調整は，(C) 部のたわみが 20 ～ 25kgf の荷重で 10 ～ 15㎜ になるように，(A) の調整ボルトにて行なってください。調整後は確実にロックナット (B) で固定してください。(図１)

(図1)



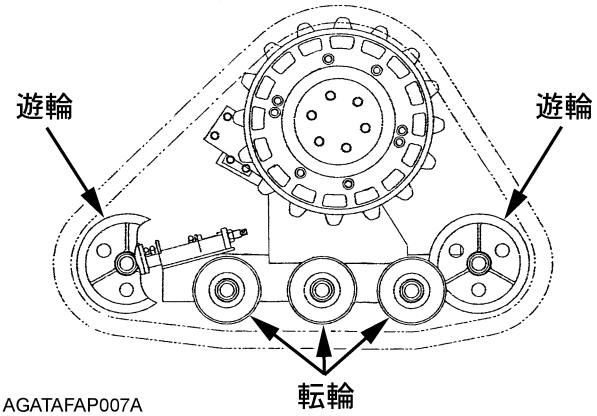
1AGATAFAP006A

■グリースアップ

クローラの揺動軸部のグリースニップル (D)（左右１ヶ所）より，定期的（50 時間毎）にグリースの注入を行なってください。

■クローラの転輪・遊輪のオイルシール点検

クローラの転輪・遊輪のオイルシールは，200 時間毎に点検・チェックの上，異常があれば交換してください。

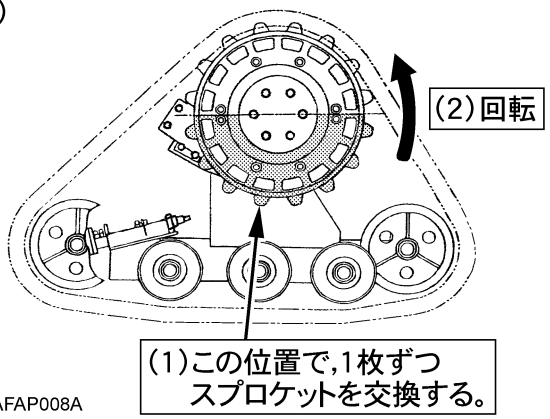


1AGATAFAP007A

■スプロケットの交換

スプロケットは２分割で構成されています。

(図2)



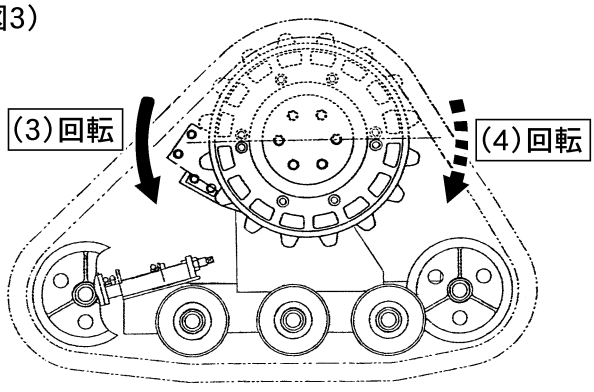
1AGATAFAP008A

1. まず ■ 部で示した下側のスプロケットを新しいスプロケットに交換します。
2. 次に車軸をゆっくり回転させ，下側に来たスプロケットを新しいものに交換します。(図２)
3. ２枚のスプロケットを交換した後，ゴムクローラの張り調整を行なってください。

■ゴムクローラの交換

1. (B) のロックナットを緩め，次に (A) の調整ボルトを回転させ，クローラの張りを緩めます。
2. 図２の ■ 部で示した下側のスプロケットを外します。
3. １枚のスプロケットを残したまま図３に示す位置まで車軸をゆっくり回転させ，古いゴムクローラを外します。

(図3)



1AGATAFAP009A

4. 新しいゴムクローラに置き換えた後，車軸を回転させ，スプロケットにゴムクローラを掛けます。
5. 外しておいたスプロケットを取付けた後，最後にゴムクローラの張り調整を行なってください。

主要諸元

■トラクタの主要諸元

型式名			KB16MA, KB16FMA	KB18MA, KB18FMA				KB20MA, KB20FMA			KB20QMA, KB20FQMA	
			PC3N	PC1	PC2	PC3	PC3N	PC1	PC2	PC3	PC1	PC2
出力 / 回転速度 kW/rpm (PS/rpm)			11.8 / 2600 (16 / 2600)	13.2 / 2600 (18 / 2600)				14.7 / 2600 (20 / 2600)				
機体寸法	全長	(mm)	(注) 2340	(注) 2380	(注) 2385	(注) 2375	(注) 2340	(注) 2380	(注) 2385	(注) 2375	(注) 2470	(注) 2475
	全幅	(mm)	1055	1260		1100	1055	1260		1100	1260	
	全高	(mm)	1885	1960	1965	1925	1885	1960	1965	1925	2025	2030
	軸距	(mm)	1350								1365	
	最低地上高	(mm)	295	370	375	335	295	370	375	335	370	375
質量 (F 仕様)		(kg)	825 (840)	875 (890)		865 (880)	825 (840)	875 (890)		865 (880)	1035 (1050)	
前輪タイヤ			5.00-12	7-16		6-14	5.00-12	7-16		6-14	7-16	
前輪トレッド		(mm)	840	1025		900	840	1025		900	1025	
変速方式			選択かみ合い式，常時かみ合い式併用（**[F 仕様]** 油圧無段変速併用）									
駆動方式			四 輪 駆 動									

■クローラの主要諸元

		PC1	PC2	PC3	PC3N
ゴムクローラ諸元 ゴムクローラタイプ		330W × 34L × 84VP 片ばしご	330W × 34L × 84WP ハイラグ	200W × 32L × 84ZP 幅狭クローラ	200W × 30L × 84ZP 幅狭クローラ
接地面積	(cm^2)	5577		3072	2818
緩衝方式		揺 動 式 (+10° -6°)			

※上記仕様は，改良のため予告なく変更する事があります。
（注）全長はバンパ先端からクローラ後端までの寸法です。

■走行速度表

マニュアルシフト仕様			
副変速レバー	主変速レバー	KB16-PC3N,KB18-PC1/PC2/PC3/PC3N,KB20-PC1/PC2/PC3,KB20Q-PC1/PC2	
		前　　進	後　　進
低	1 2 3	0.58 0.97 1.49	0.58 0.97 1.49
中	1 2 3	1.17 1.96 2.94	1.17 1.96 2.94
高	1 2 3	4.97 8.35 13.2	4.97 8.35 13.2

グライドシフト仕様		
副変速レバー	KB16-PC3N,KB18-PC1/PC2/PC3/PC3N,KB20-PC1/PC2/PC3,KB20Q-PC1/PC2	
	前　　進	後　　進
低	0.18 ～ 2.14	0.35 ～ 1.92
中	0.54 ～ 5.97	0.56 ～ 5.49
高	1.33 ～ 12.38	1.33 ～ 11.76

ロータリについて（PC 仕様）

■標準タイプとの違い

PC 仕様は，標準仕様とはフロントカバーの前後方向の長さが異なります。ロータリの取扱いは別冊の「クボタロータリ取扱説明書」をご参照いただき，仕様違いについてはお間違いのないようお願いいたします。

■ロータリの取付け方法と適応型式

トラクタ型式	KB16-PC3N, KB18-PC3(N), KB20-PC3	KB18-PC1, KB18-PC2, KB20(Q)-PC1, KB20(Q)-PC2
ロータリ型式	RSP12K,RSP13K, RSP14K,RSP15K, RSP16K,RKP12K	RSP15K-PC, RSP16K-PC, RKP12K
トップリンク長さ“L”寸法（mm）	195	
ロアーリンク取付穴	前	
リフトロッド左・右の取付穴	上	

◎トップリンク長さ**“L”**寸法は 195mm を目安とし，異音（ガラガラ音）が出る場合は± 5 mm の範囲で調節してください。

重　要

＊ PC1,PC2 仕様トラクタに装着する PC 仕様ロータリは標準仕様とはフロントカバーの前後方向の長さが異なります。(PC 仕様の方が短い。PC1，PC2 仕様トラクタに標準仕様のロータリを装着されますと，フロントカバーを損傷するおそれがありますので装着しないでください。PC 仕様は，フロントカバーのステー部に「PC」の刻印があります。

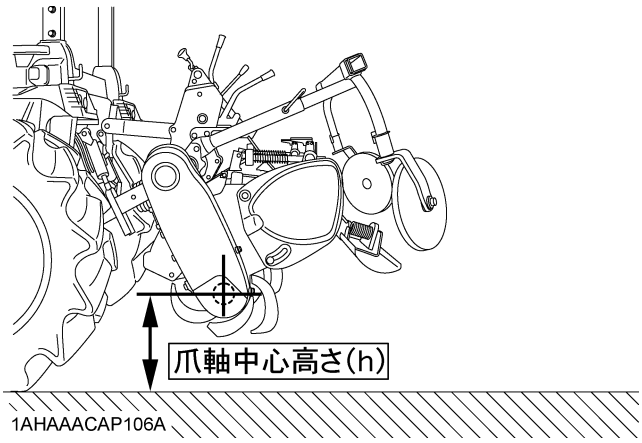
■ロータリの給油

補　足

＊ ロータリのオイル量を点検するときは，トラクタの型式によってロータリの爪軸中心高さを調整して行なってください。
爪軸中心高が正しくないと正確な量を示さないことがあります。

オイル量点検時の爪軸中心高さ h（cm）				
トラクタ型式	サイドドライブロータリ			センタドライブロータリ
	ギヤケース		チェーンケース	ロータリケース
	RSP11K,12K,13K	RSP14K,15K,16K		
KB18-PC1, KB18-PC2, KB20(Q)-PC1, KB20(Q)-PC2	—	46.5	37.5	55.5
KB16-PC3N, KB18-PC3N	42.0	40.0	31.5	50.0
KB18-PC3, KB20-PC3	47.0	45.5	37.0	55.0

（但しバラツキによる誤差はあります）



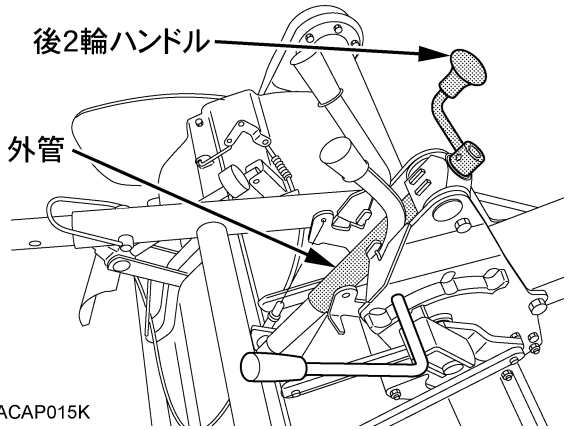
■ロータリ着脱姿勢の調整

◆ 後２輪ハンドルの調整

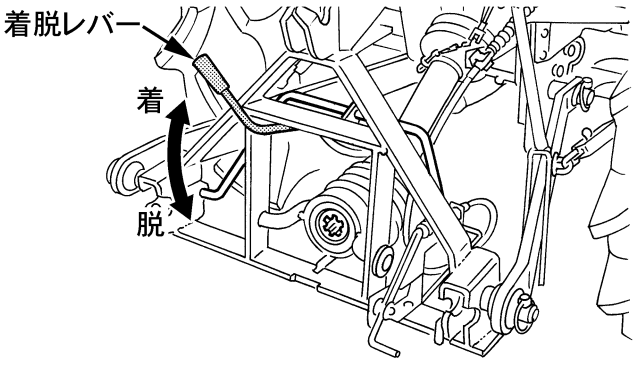
[S 仕様]

ロータリの後２輪ハンドルを回し，外管の先端を下表を参考にして内管に貼ってある耕深ラベルの目盛りに合せてください（ほ場の状態やバラツキによる多少の誤差はあります）。
また，ロータリを取外すとき以外は着脱レバーを **“着”** 側に倒します。

トラクタ型式	着脱時の目盛り
KB16-PC3N,KB18-PC1, KB18-PC2,KB18-PC3(N), KB20(Q)-PC1,KB20(Q)-PC2, KB20-PC3	３～４



1AHAAACAP015K



1AHAAACAP017A